

授業の一環としての「2005 年度 二科展デザイン部等受賞作品」の概略報告

筑波技術大学 総合デザイン学科

安田輝男 生田目美紀 井上征矢

要旨：筑波技術短期大学テクノレポート Vol.9(1)「視覚伝達デザイン教育におけるコンペティション応募への取り組み」、筑波技術短期大学テクノレポート Vol.10(1)「二科展デザイン部『入選作品&応募作品』の概略報告」及び筑波技術短期大学テクノレポート Vol.12「授業の一環としての『2003～4 年度二科デザイン部受賞作品』の概略報告」において、その主旨と成果について概略報告した。本稿では、2005 年度の成果と新たな試みについての概略を報告する。

キーワード：視覚伝達デザイン、聴覚障害、アート、広告、二科展デザイン部

1. はじめに

視覚伝達デザインは、聴覚に障害のある人にとって健常者との格差が生じにくい分野と考えられ、また視覚的造形発想力に関して優れた能力を発揮できれば、社会での活躍も期待できる領域である。

つまり、視覚伝達デザインは、聴覚に障害がありデザインを職業として社会自立を目指す学生にとって、期待できる領域である。こうした考えに基づき、その能力を実践の場で磨くため、3 年次の授業「伝達デザイン論・演習」の一環として、2000 年度より二科展デザイン部門へ毎年応募。昨年度から2 年次の授業「伝達方法論・演習」、そして本年度からは1 年次の授業「コンピュータグラフィックス基礎論・演習」の一環としても二科大阪展「ポストカードデザイン大賞」に応募した。また、本年度は、3 年次生が二科茨城支部展デザインの部にも応募した。本年度の受賞実績は下記の通りである。

[二科展デザイン部] C 部門（特別テーマ）

「『地球環境を考える』をテーマとしたポスター」

8 名応募 1 名入選 7 名準入選

[二科大阪展「第3 回ポストカードデザイン大賞」]

テーマ自由：20 名応募 3 名入選

[二科茨城支部展デザインの部] C 部門（特別テーマ）

「『第56 回全国植樹祭』をテーマとしたポスター」

1 名（2 点）応募 茨城県知事賞および入選

2. 各授業の構成

2.1 「伝達デザイン特別論・演習」の授業の構成

3 年次を対象とするこの授業においては、講義では、広告デザインの基礎的なアート手法を実際の広告事例のデザインを参照しながら具体的に学習する。演習では、実際のデザインの仕事（グラフィック広告デザイン、エディトリアルデザイン等）をするうえで役にたつスキルを身につける。

そのスキルを習得するために次に掲げた①～⑭の主なアート手法を教授する（手法の詳細は前々稿に記載）。

①モノデカアート ②幕の内アート ③告知アート ④ビッグアート ⑤喜怒哀楽アート ⑥遊技アート ⑦タイポアート ⑧記号アート ⑨スキャンダルアート ⑩プロマイドアート ⑪アニマルアート ⑫BABYアート ⑬キャラクターアート ⑭パロディアート

授業での成果物としては、二科展デザイン部等への応募ポスター作品等がある。[1] ～ [12]

2.2 「伝達方法論・演習」の授業の構成

2 年次を対象とするこの授業においては、コミュニケーションのための有効な表現をどのように発想するか、また情報伝達の方法（プレゼンテーション）を体験的に習得する。特に「デザインコンペや広告賞等への応募作品」制作では、鑑賞者をいかに惹き付けるかの視覚伝達デザインの表現アイデア、技法の学習を行う。

授業での成果物としては、二科大阪展「ポストカードデザイン大賞」応募作品等がある。

2.3 「コンピュータグラフィックス基礎論・演習」の授業の構成

1 年次を対象とした必修授業である。デザイン業界における主流画像ソフトおよびパソコンの初歩的論・演習を学ぶ授業である。この授業では、基本的な知識と技術に関連づけながらコンピュータグラフィックスへの理解を深め、デザインにおける表現手段を拡張することを目的としている。初めてパソコンを経験する学生から豊富な経験を持つ学生まで、対象学生のスキルは幅がある。

授業で取組むアイテムは、ポストカードから始まり、最後はポスターへと、徐々にサイズが大きくなるように計画している。

授業での成果物としては、二科大阪展「ポストカードデ

ザイン大賞」応募作品、筑波技術大学学生募集ポスター等がある。[13]

3. 応募への取り組み

3.1 [二科展デザイン部 2005 年度 受賞作品]

2005 年 第 90 回二科展デザイン部募集作品テーマは、A 部門（自由テーマ）・B 部門（イラストレーション）・C 部門（特別テーマ『地球環境を考える』をテーマとしたポスター）」であった。

3 年次生 8 名が C 部門（B 1 サイズのポスター）に応募し、1 名が入選、7 名が準入選した。

作品①松田善機（入 選）

・タイトル：「僕は絶滅種になりたくない」

地球上のすべての生物にとっても、地球環境問題は深刻である。時々刻々と絶滅の危機に瀕している生物たちがいる。そんな危機的状況を今は我が世の春と時めいている色鮮やかなインコが警告のメッセージを送っている。

作品②大澤直子（準入選）

・タイトル：「美しい地球を咲かせよう」

瑞々しい地球を華やかな花びらがとりまくかたちで、大輪の花が描かれている。その花に、生きとし生けるものの象徴として一羽の蝶々が戯れている。明日の地球もまた美しく咲くことを願って…。

作品③神本梨香（準入選）

・タイトル：「もう限界や！」

地球温暖化は、ますます拍車がかかって、地球規模で自然災害も各地で頻発。もう限界に達している。そんな状況をアイスクリームと地球をモチーフにして激写している。強烈なインパクトでメッセージを送っている。

作品④梶原慶順（準入選）

・タイトル：「2005 年『地球は赤かった』。地球環境を守りましょう」

1961 年、ガガーリン少佐の有名な言葉「地球は青かった」を下敷きにした言葉「2005 年『地球は赤かった』と、ビジュアルのモチーフ赤信号、地球とによる構成が際立った表現である。

作品⑤北村麻衣（準入選）

・タイトル：「地球のお掃除中」

日本の高度経済成長は遙か昔。いまや地球規模での高度経済成長が続き、地球のあちこちで膨大な廃棄物の山また山が築かれている。まさに「掃除しないと地球がゴミだらけになっちゃうよ」である。

作品⑥田村友恵（準入選）

・タイトル：「もう手遅れです…と、ならないように」

地球規模での森林等の自然破壊を禿げ山、禿頭のイメー

ジにオーバーラップさせたイラストレーションによる哀しくもコミカルな表現である。天空からは、お月様もその禿ぶりを観察している。

作品⑦森下佳代

・タイトル：「地球環境を大切に。もっと、人力エネルギーを」

夜空に輝く星座「自転車座」が人力エネルギーをファンタジックに表現している。環境問題をテーマとした場合、ビジュアル表現はネガティブアプローチが普通となるが、当表現は夢のあるポジティブアプローチである。

作品⑧山下祥生（準入選）

・タイトル：「絞ると、地球はこんなに汚れている…」

水の惑星と言われる地球が汚れていて、それを絞ったとしたら、きっとこんなイメージになるのではないか。その汚れた水を目のあたりにしたら、もっと地球をきれいに大切にしなければという気持ちが湧いて来る。

3.2 [二科茨城支部展デザインの部 2005 年度 受賞作品]

2005 年 第 43 回二科茨城支部展デザインの部募集作品テーマは、A 部門（自由テーマ）・B 部門（イラストレーション）・C 部門（特別テーマ『第 56 回全国植樹祭』をテーマとしたポスター）」であった。

3 年次生 1 名が C 部門（B 1 サイズのポスター）に 2 作品に応募し、1 点は茨城県知事賞を受賞し、もう 1 点は入選を果たした。

作品⑨松田善機（茨城県知事賞）

・タイトル：「楽しいな森と人とのハーモニー」

木の形をした人間や鳥やカエル等を登場させ、森の中で人と生物が共生して行く世界を描いている。グリーン、ブルー、イエローをふんだんに使って植樹祭のイメージも演出している。

作品⑩松田善機（入 選）

・タイトル：「楽しいな森と人とのハーモニー」

緑の地球と鍵盤と音符をモチーフにして、タイトル「楽しいな森と人とのハーモニー」をグラフィカルに表現している。画面全体に白いスペースを活かし、軽やかで楽しいイメージを醸し出している。

3.3

[二科大阪展「第 3 回ポストカードデザイン大賞」入選作品]

テーマは自由である。2 年次生 9 名、1 年次生 10 名が応募し、3 名が入選した。

作品⑪高野真有（入 選）

・テーマ：「地球はいつも心の中に」

「地球環境を守ろう」というテーマで、写真撮影から、

ペイント系ソフトを使用した画像合成までを行った。

作品⑫鄭 峰守（入 選）

・テーマ：「NO IMAGING…」

天才アインシュタインの頭脳をして「?」「NO IMAGING…」と言わしめる世界とは？ まさに大胆な切口である。

作品⑬^{はさま}裕 愛子（入 選）

・テーマ：「香り」

嗅覚の世界に漂う「香り」を、花と手をモチーフにして視覚の世界に清楚に表現している。

4. おわりに

聴覚に障害がありデザインを学ぶ学生にとって、視覚伝達デザインのスキルを習得することは、社会で自立し、自己実現するために必須である。そうしたスキルを社会のデザイン現場との関わりの中で習得するために、3 年次授業「伝達デザイン特別論・演習」の一環として、2000 年度より二科展デザイン部門へ継続して応募し、受賞実績を重ねて来た。

本年度からは、1 年次の「コンピュータグラフィックス基礎論・演習」も授業の一環としてその成果物を「二科大阪展第3 回ポストカードデザイン大賞」へ応募し入賞を果たすなど、いまや3 授業がその成果物をコンペティショへ応募し実績を重ねている。

今後とも、授業の一環としてのコンペティションへの応募は継続し、さらに実績を重ねていきたい。

本年度の二科茨城展デザイン部への応募に際しては、本間巖先生にご支援ご協力をいただきました。ここに感謝の意を表します。

デザイン学科のこれまでの二科展等受賞実績

[2000 年度 二科展デザイン部]

A 部門（自由テーマ）：1 名応募 準入選

B 部門（イラストレーション）：1 名応募

C 部門（特別テーマ）：3 名応募 1 名準入選

『『2001 ボランティア国際年』をテーマとした
ポスター・キャラクター』

[2001 年度 二科展デザイン部]

C 部門（特別テーマ）：5 名応募 全員準入選

『『愛知万博』をテーマとしたポスター』

[2002 年度 二科展デザイン部]

C 部門（特別テーマ）：7 名応募 3 名入選

『『2003 年 日・ASEAN 交流年』をテーマとしたポ
スター』

[2003 年度 二科展デザイン部]

C 部門（特別テーマ）：7 名応募 2 名準入選

『『愛・地球博』をテーマとしたポスター』

[2004 年度 二科展デザイン部]

C 部門（特別テーマ）：5 名応募 2 名準入選

『『愛・地球博』をテーマとしたポスター』

[2004 年度 二科大阪展「第2 回ポストカードデザイン大賞」]

テーマ自由：12 名応募 4 名入選

[2005 年度二科茨城支部展デザインの部]

C 部門（特別テーマ）1 名（2 点）応募

茨城県知事賞および入選

『『第56 回全国植樹祭』をテーマとしたポスター』

[2005 年度 二科展デザイン部]

C 部門（特別テーマ）8 名応募 1 名入選 7 名準入選

『『地球環境を考える』をテーマとしたポスター』

[2005 年度二科大阪展「第3 回ポストカードデザイン大賞」]

テーマ自由：20 名応募 3 名入選

参考文献・資料

- [1] 二科展デザイン部：二科展デザイン部作品集 1999, 二科展デザイン部, 1999
- [2] 二科展デザイン部：二科展デザイン部作品集 2000, 二科展デザイン部, 2000
- [3] 二科展デザイン部：二科展デザイン部作品集 2001, 二科展デザイン部, 2001
- [4] 二科展デザイン部：二科展デザイン部作品集 2002, 二科展デザイン部, 2002
- [5] 二科展デザイン部：二科展デザイン部作品集 2003, 二科展デザイン部, 2003
- [6] 二科展デザイン部：二科展デザイン部作品集 2004, 二科展デザイン部, 2004
- [7] 安田輝男：パロディ広告大全集全一卷,第1 版,誠文堂新光社,東京,1984
- [8] 博報堂アート手法研究プロジェクト：FIFTEEN ARTEDGES,株式会社博報堂,東京,1989
- [9] 大貫卓也：大貫卓也全仕事,第1 版,マドラ出版,東京,1994
- [10] 安田輝男：あの広告はすごかった!,第1 版,中経出版,東京,1997
- [11] 安田輝男：広告デザインにおけるパロディの研究,デザイン学研究第46 回研究発表大会概要集,24-25,1999
- [12] 安田輝男・鈴木昭男：広告表現評価の尺度開発(上) — 「おっ!」「なるほど!」と思われる広告—日経広告研究所報 207 号,2-7,2003
- [13] 生田目美紀：“筑波技術短期大学学生募集ポスター とデザイン教育”, 筑波技術短期大学テクノレポート, Vol.9(2), p.1-5, 2002.



図1 作品① 松田善機さんの作品

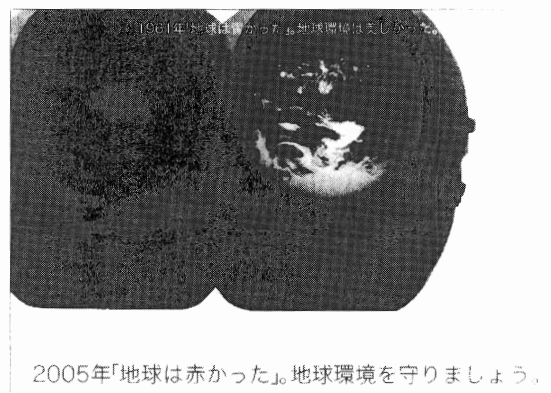


図4 作品④ 梶原慶順さんの作品

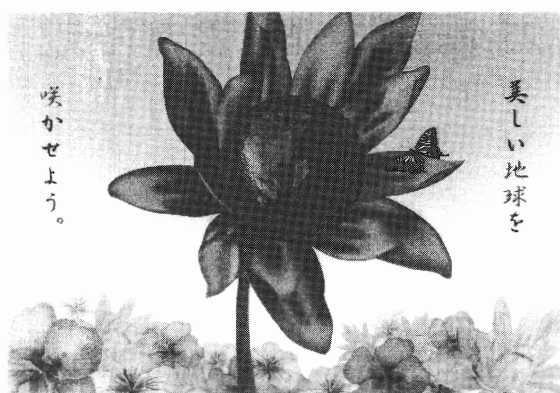


図2 作品② 大澤直子さんの作品

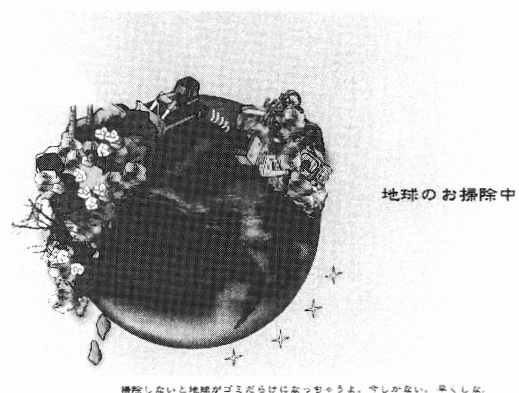


図5 作品⑤ 北村麻衣さんの作品



図3 作品③ 神本梨香さんの作品



図6 作品⑥ 田村友恵さんの作品

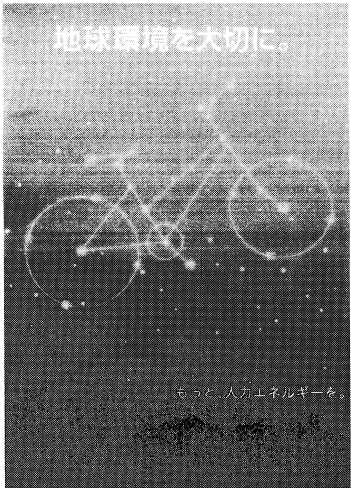


図7 作品⑦ 森下佳代さんの作品

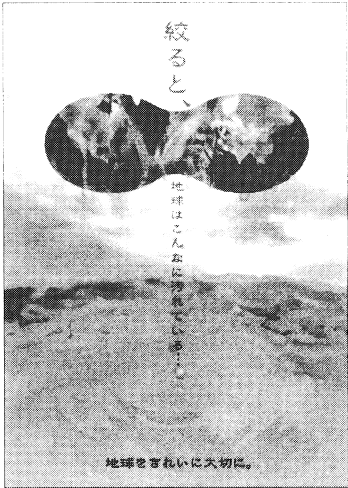


図8 作品⑧ 山下祥生さんの作品

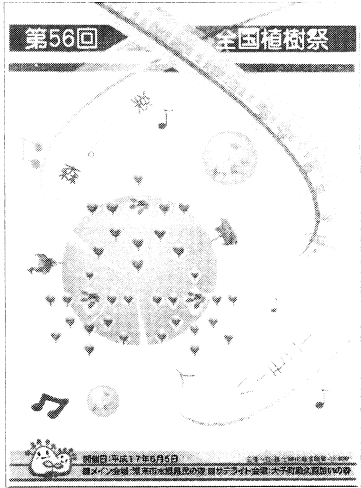


図10 作品⑩ 松田善機さんの作品



図9 作品⑨ 松田善機さんの作品

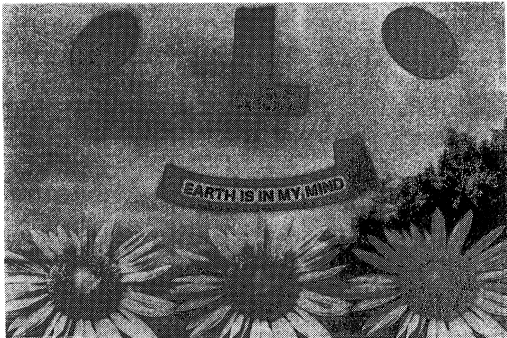


図11 作品⑪ 高野真有さんの作品



図12 作品⑫ 鄭 峰守さんの作品



図13 作品⑬ 裕 愛子さんの作品

Report of Outline of
” Winning School Works which are Applied” for NIKA Design Part ,2005

YASUDA Teruo NAMATAME Miki INOUE Seiya

Department of Synthetic Design, National University Corporation Tsukuba University of Technology

Abstract : I have reported on the object and result in “Applications Design Competition, ‘Visual communication design’ for Education” (Tsukuba College of Technology Techno Report, 2002 Vol.9(1)) and “The report of an outline of ‘The winning works & the works which are applied’ for NIKA design part” (Tsukuba College of Technology Techno Report, 2003 Vol.10(1)) and ‘Report of Outline of ‘Wining School Works which are Applied’ for NIKA Design part,2003～4” (Tsukuba College of Technology Techno Report,20035Vol.12).In this report , I have reported on an outline of results the 2005 and trials.

Key Words : Visual Communication Design, The hearing impaired, Art, Advertisement, NIKA design part